

2012年3月21日

報道関係各位

MSD 株式会社
一般財団法人 阪大微生物病研究会

MSD 株式会社、阪大微生物病研究会 季節性インフルエンザ HA ワクチン製剤の国内販売契約を締結

MSD 株式会社(本社:東京都千代田区、社長:トニー・アルバレス、以下「MSD」)と一般財団法人 阪大微生物病研究会(所在地:大阪府吹田市、理事長:東雍、以下「阪大微研会」)は、3月19日、阪大微研会が製造するインフルエンザ HA ワクチン「ビケン HA」、「フルービック HA[®]」および「フルービック HA シリンジ」について、日本国内における販売契約を締結いたしました。

この販売契約に基づき、MSD は本年秋より、2012年から2013年シーズン向けのインフルエンザ HA ワクチン「ビケン HA」、「フルービック HA[®]」および「フルービック HA シリンジ」の販売活動を開始する予定です。当販売契約において、製造販売元は阪大微研会、販売元は MSD となります。なお、今回の提携により MSD は阪大微研会のインフルエンザ HA ワクチンの販売元のひとつに加わることとなりますが、阪大微研会のインフルエンザ HA ワクチンおよびその他のワクチンの既存の販売元との取引もこれまで通り継続いたします。

インフルエンザ HA ワクチン「ビケン HA」、「フルービック HA[®]」および「フルービック HA シリンジ」は、いずれも季節性インフルエンザの予防に使用する孵化鶏卵由来の不活化ワクチンで、年度毎に厚生労働省が指定するインフルエンザウイルスの A 型株および B 型株を含有します。また、「フルービック HA[®]」および「フルービック HA シリンジ」は保存剤であるチメロサルや他の代替保存剤を含まない製剤です。

MSD と阪大微研会は、販売面での連携を図ることで、より効果的に医療現場のニーズにお応えできると考えております。MSD は、ワクチンの製造、販売及び情報提供を通して予防医療への貢献に努めて参りましたが、今回の契約締結を機に、より一層、人々の健康的な生活を支援していきたいと考えております。阪大微研会は、これまでも新しいワクチンの研究・開発、安定供給を通して、公衆衛生の向上に貢献して参りました。今回の契約締結を機に、有効で安全なワクチンを、より一層多くの人々に届けられるよう努めたいと考えております。

以上

<お問い合わせ先>

MSD 株式会社 広報部門 (担当:嶋本)
〒102-8667 東京都千代田区九段北 1-13-12 北の丸スクエア
TEL:03-6272-1001 FAX :03-6238-9136

一般財団法人 阪大微生物病研究会 管理本部企画室 (担当:磯野)
〒565-0871 大阪府吹田市山田丘 3-1
TEL:0875-25-4175 FAX:0875-25-4830

MSD 株式会社について

MSD は、すこやかな世界の実現を目指して努力を続ける、グローバルなヘルスケア企業です。医療用医薬品、ワクチン、生物学的療法および一般向けならびにアニマルヘルスケア製品の提供を通じてお客様と協力し、世界 140 カ国以上で事業を展開して革新的なヘルスケア・ソリューションを提供しています。さらに、さまざまなプログラムやパートナーシップを通じて医薬品を必要とする人々への製品寄付や供給を行い、医薬品へのアクセスを推進する活動に積極的に取り組んでいます。MSD の詳細については、www.msdd.co.jp をご参照ください。

一般財団法人 阪大微生物病研究会について

阪大微研会は、創設以来、大阪大学微生物病研究所における先駆的基礎研究をもとに時代のニーズに応え、新しいワクチンを開発、供給するとともに、学術研究の助成と奨励を行う事で公衆衛生の向上に貢献してきました。今後とも常にワクチンの有効性と安全性を希求し、既存ワクチンの改良と次世代ワクチンの開発に積極的に取り組み、「地域に生き世界に伸びる」をモットーに、環境と調和し、地域社会との融合発展を図ることを目指しています。阪大微研会の詳細は、www.biken.or.jp をご参照ください。